

## 上場会社の3割超が 2016 年春入社の新卒採用人数を拡大

「会社四季報 2015 年春号」で上場会社の採用方針を調査

株式会社東洋経済新報社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：山縣裕一郎）は、上場会社に対し、2016 年春の新卒採用方針を調査したところ、3 分の 1 の会社が採用人数を増やすことがわかりました。調査結果の詳細は、3 月 13 日発売の『会社四季報 2015 年春号』に掲載します。

本調査は上場会社全社（3578 社）を対象に、今年 1～2 月にかけて実施しました。回答のあった 3162 社のうち、16 年春入社に向けた採用で、34.4%（1089 社）が採用人数を増やすと回答。一方で、減らすと回答した会社はわずか 11.8%（373 社）にとどまり、昨年同時期に実施した調査と同水準でした（昨年はそれぞれ 34.8%、11.6%）。今年も引き続き新卒採用を拡大する会社が増える見通しで、本格的にスタートした 16 年春入社の新卒採用は、売り手市場の様相が一段と強まっています。

また、賞与支給額や残業時間、有給休暇取得日数、新卒離職率についても調査しました。14 年の年間賞与支給額は平均 128.5 万円（有効回答数 943 社）。13 年度（13 年 4 月～14 年 3 月）の残業時間は月間平均 18 時間 26 分（同 1022 社）、有給休暇取得日数は 12.0 日（同 1099 社）でした。入社 3 年後の離職率については 32.4%（11 年 4 月入社の新卒正社員）でした。

『会社四季報 2015 年春号』では、全上場会社を対象とする初任給、採用予定者数を、また巻末には就活に役立つ各種ランキングとして、内定者数、初任給、賞与支給額、有給休暇取得日数、3 年後新卒低離職率など上位 100 社を掲載しております。



『会社四季報 2015 年 2 集春号』